

東北地方 1か月予報

(8月14日から9月13日までの天候見通し)

平成22年8月13日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北地方は年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の気温は、高い確率が60%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[気温] 東北地方



[降水量] 東北地方



[日照時間] 東北地方



低い(少ない)

平年並

高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

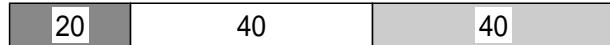
[1週目] 東北地方



[2週目] 東北地方



[3~4週目] 東北地方



低い

平年並

高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月14日(土) ~ 9月13日(月)

1週目 : 8月14日(土) ~ 8月20日(金)

2週目 : 8月21日(土) ~ 8月27日(金)

3~4週目 : 8月28日(土) ~ 9月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月20日

3か月予報：8月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	21.7	137.0	176.6	23.1	22.4	21.1
深浦	21.8	176.1	172.6	23.2	22.6	21.2
むつ	20.5	166.0	142.2	21.7	21.1	19.9
八戸	21.1	171.7	155.0	22.4	21.8	20.6
秋田	23.1	195.3	183.9	24.8	24.0	22.3
盛岡	21.6	184.8	139.5	23.3	22.6	20.8
大船渡	21.9	223.9	138.0	23.1	22.6	21.3
宮古	21.1	206.1	143.0	22.3	21.9	20.5
仙台	22.9	194.8	135.8	24.1	23.7	22.4
石巻	22.5	146.7	156.3	23.6	23.2	22.0
山形	23.1	150.7	161.4	24.7	24.0	22.3
新庄	22.4	167.9	150.0	24.1	23.3	21.6
酒田	23.5	195.4	187.3	25.1	24.4	22.7
福島	23.8	156.3	137.5	25.3	24.7	23.2
若松	23.3	131.5	171.7	24.9	24.3	22.6
白河	22.0	242.7	136.4	23.4	22.8	21.5
小名浜	23.4	164.3	172.6	24.1	23.9	23.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	79 ~ 118	91 ~ 107
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	81 ~ 110	91 ~ 107
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	75 ~ 119	89 ~ 110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.8
東北日本海側	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年8月13日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月14日～9月13日)：

気圧の谷や前線の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は高い確率が60%です。

1週目(8月14日～8月20日)：

前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多く、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。東北北部では期間の中頃は高気圧におおわれて晴れる日がある見込みです。

平均気温は高い確率が80%です。

2週目(8月21日～8月27日)：

気圧の谷や前線の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は高い確率が50%です。

3～4週目(8月28日～9月10日)：

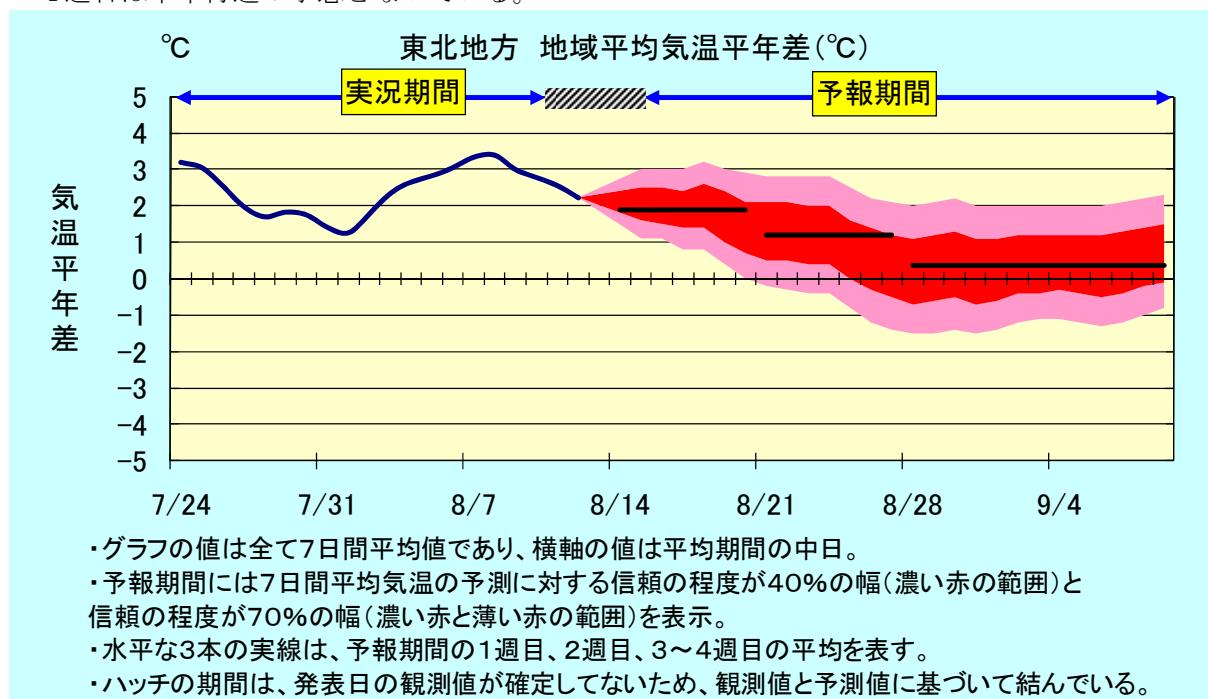
気圧の谷や前線の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	15.1日	4.1日	3.8日	7.2日
東北太平洋側	12.9日	3.5日	3.3日	6.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目と2週目は平年を上回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。

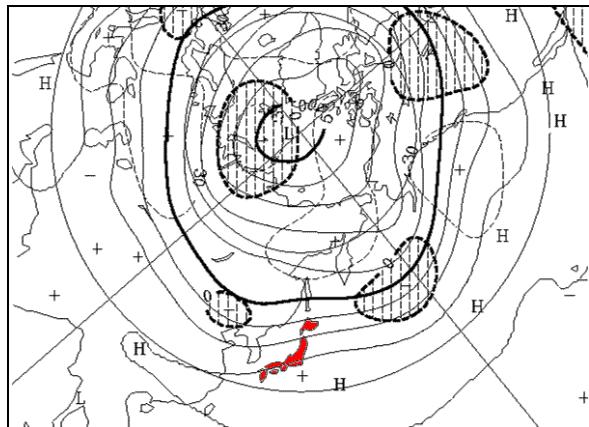


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は正偏差におおわれ、高温が予想される。

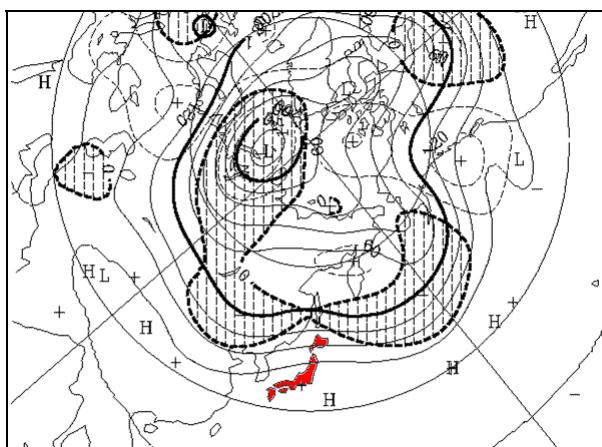
1週目：日本付近は正偏差におおわれるが、華北付近とアリューシャンの南を中心に負偏差となる。東北地方は高温が予想されるが、前線や気圧の谷の影響を受けやすい。なお、期間の終わりはオホーツク海高気圧の影響を受ける可能性がある。

2週目：日本付近は引き続き正偏差におおわれるが、華北付近と日本のはるか東では負偏差となる。東北地方は高温が予想されるが、前線や気圧の谷の影響を受けやすい。なお、オホーツク海高気圧の影響を受ける可能性がある。

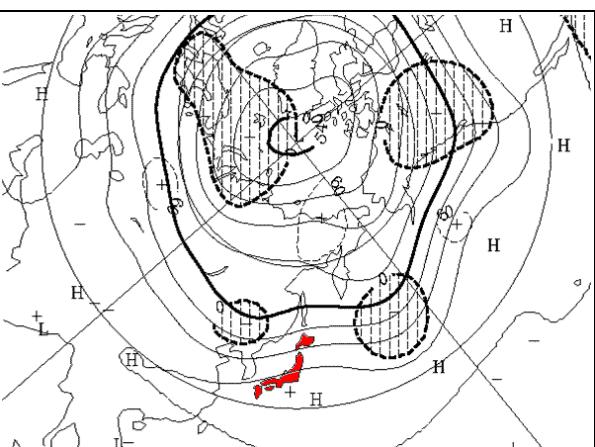


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

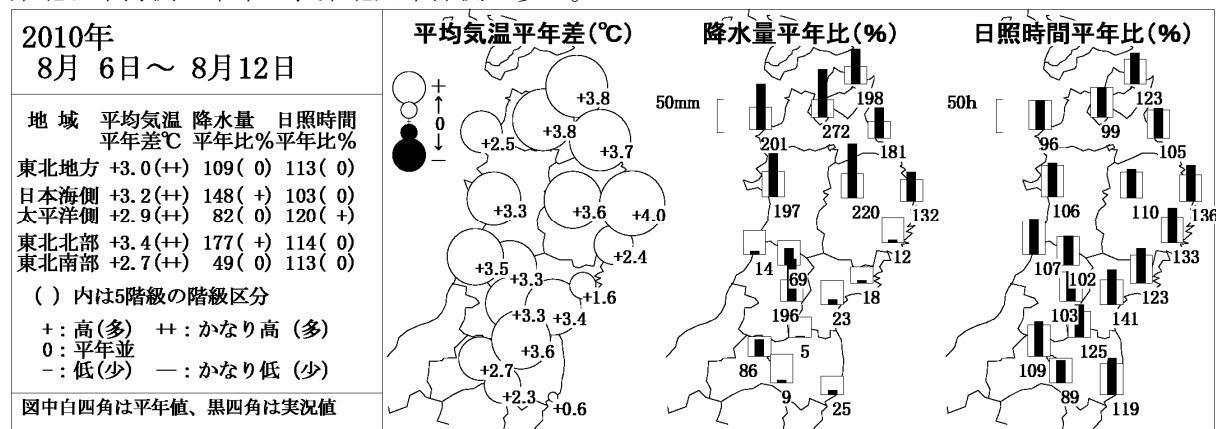
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (8月6日～8月12日) の天候の経過

この期間、高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、期間の中頃と終わりは気圧の谷や台風の影響で曇りや雨の日があった。9日は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、青森県、秋田県で浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。11日から12日は台風の影響で暖かく湿った空気が流れ込みやすく、大気の状態が不安定となったことにより、各地で浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）